

ソーシャルボンドとしてのJICA債

SDGs達成に向けた 貢献ツール

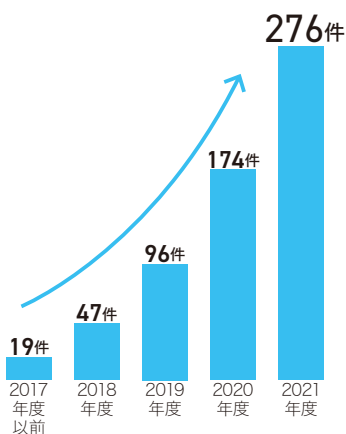


インド：女性専用車両が導入されているインドのデリーメトロ。安心して通勤できることから、女性が街に出て働きやすくなった。ジェンダーボンドの調達資金は、女性にとって安心・安全な公共交通機関の整備などに使われている [写真：久野真一]



3,400億円

JICA債の発行総額
(2016年9月～2022年3月)



JICA債への投資表明件数
(累計)

※ JICAは、国際資本市場協会(ICMA)が公表するソーシャルボンド原則に適合した債券フレームワークを構築し、第三者評価機関からセカンドパーティーオピニオンを取得しています。

JICAは、2016年に国内初となるソーシャルボンドを発行しました。以降、国内で発行するすべての債券をソーシャルボンドとして発行、2021年度までの発行総額は3,400億円に達します。

ソーシャルボンドとは、社会的課題の解決に資する事業の資金調達のために発行される債券です*。ソーシャルボンドとしてのJICA債は、SDGsへの貢献やESG投資のツールとして注目を集め、多くの投資家に投資表明をいただいています。

調達資金は有償資金協力事業に充当

JICA債で調達した資金は、有償資金協力事業に充当され、道路や鉄道などの交通インフラ整備、再生可能エネルギーを使った電源開発、ジェンダー平等の促進など、多岐にわたる分野で開発途上国の安定と持続的発展のための事業に使われます。

国内初の「ジェンダーボンド」を発行

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の危機を受けて一層浮き彫りとなった開発途上国でのジェンダー間の不平等や格差の問題に着目。女性事業主向けの融

資のほか、教育機会の均等や、女性が安心して利用できる公共交通機関の整備など、ジェンダー平等を推進する事業に資金使途を限定する「ジェンダーボンド」を国内で初めて発行しました。

この債券は大きな反響を呼び、優れた債券発行の事例として、国内金融・資本市場に特化した専門メディアである株式会社キャピタル・アイ主催の2021年度「キャピタル・アイAwards」の財投機関債等部門で「BEST DEALS OF 2021」を受賞しました。

また、2021年度は7年ぶりとなる個人向けのリテール債も発行し、JICAのミッションに共感する幅広い個人の皆さまにJICA債を購入いただきました。

身近な国際協力、SDGsへの貢献、ESG投資のツールとして、皆さまに選んでいただけるよう、今後もJICA債の発行を継続していきます。

関連情報

JICAウェブサイト — 投資家の皆様へ